

○主催
 一般財団法人観世文庫
 名古屋名駅新能実行委員会

○特別協賛
 東海旅客鉄道株式会社
 トヨタ自動車株式会社

○後援
 愛知県
 名古屋市
 愛知県教育委員会
 名古屋市教育委員会
 愛知芸術文化協会 (ANET)
 NHK名古屋放送局
 中日新聞社
 朝日新聞社
 読売新聞社
 毎日新聞社
 日刊工業新聞社
 中部経済新聞社
 中京テレビ放送株式会社
 CBCテレビ
 東海テレビ放送
 メーテレ
 テレビ愛知
 東海ラジオ放送
 株式会社ZIP-FM
 @FM
 中部国際空港株式会社

○協賛
 ジェイアールセントラルビル株式会社
 ジェイアール名古屋タカシマヤ
 東海キヨスク株式会社
 名古屋マリオットアソシアホテル
 名工建設株式会社
 三井物産株式会社
 豊田通商株式会社
 名鉄グループ
 東和不動産株式会社
 安藤ハザマ
 愛晃開発株式会社
 東海東京証券株式会社
 東邦ガス株式会社
 テンプスタッフ・ビープル株式会社
 コカ・コーライーストジャパン株式会社
 キリンビールマーケティング株式会社
 キリンビバレッジ株式会社
 アサヒビール株式会社
 アサヒ飲料株式会社
 サッポロビール株式会社
 サントリー酒類株式会社
 株式会社伊藤園
 NTT都市開発株式会社
 アイシン精機株式会社
 株式会社アドヴィックス
 阪和興業株式会社
 東明工業株式会社
 株式会社大輪製作所
 株式会社青島設計
 株式会社泉不動産
 医療法人高田内科医院
 株式会社山田商会
 株式会社朋優
 株式会社EDUCOM
 株式会社松浦商店
 株式会社太閤ビルディング
 株式会社むさし家
 中日本興業株式会社
 タイド・ドリンク株式会社
 医療法人としわ会
 安藤貴金属精錬株式会社
 モンブランホテル
 株式会社中部新都市サービス
 宝石の八神
 名古屋名駅ロータリークラブ
 名古屋名駅ロータリークラブ「能に遊ぶ集い」

○企画協力
 中日本エージェンシー
 株式会社三晃社
 有限会社アップルアップル

新能

第十四回
 名古屋名駅

ひと、ゆめ、燃える
 真夏の夜の祭典



ユネスコ「第1回世界無形遺産の宣言」能楽

舞囃子「巻 絹」久田 三津子
 神楽留

仕舞「忠 度」観世 芳伸

狂言「墨 塗」井上 松次郎

能「船弁慶」観世 清和
 重き前後之替 久田 勘鷗

「特別インタビュー」女優夏樹陽子

NAGOYA MEIEKI TAKIGINOH

7月26日(日) 5:00PM開場予定 6:00PM開演
8:30PM終演予定 演能中に雨が降った場合は終演といたします

JR名古屋駅・タワーズガーデン特設会場 [JR名古屋駅 桜通口駅前広場]

※雨天時:名古屋能楽堂(名古屋城正門前)6:00PM開場 7:00PM開演

入場無料
 但し、整理券600名(抽選)
 自由席(立見含)600名(先着順)

第7回
 「名古屋名駅新能」
全国学生能楽コンクール
 日時
 平成27年7月26日(日)
 10:00AM~
 会場
 名古屋能楽堂
 ☎(052)231-0088(入場無料)
 午後5時より第14回名古屋名駅新能(会場で結果発表及び表彰式・エキシビジョン演技披露)

往復ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望席数(1通2名様まで)をご記入の上、下記へお送り下さい。ホームページから応募ができます。
 〒453-0024 名古屋市中村区名楽町4-16 大黒寺内 名古屋名駅新能実行委員会事務局 ☎(052)482-3580
 http://www.takiginoh.jp

※応募締切:平成27年7月8日(水)必着 ※自由席は当日先着順

※但し、整理券必要(先着・全600席)当日午後3時決定、問合せ先 ☎(052)482-3580
 ※会場変更の場合、ホームページならびに東海ラジオ放送で午後4時頃お知らせする予定です。

※応募いただいたお名前・住所等の個人情報は、今後の企画の参考としてのアンケートに利用させていただくことがあります。当事務局は、個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守するとともに、貴様の個人情報の保護に万全を尽くしてまいります。
 ※事務局(名古屋名駅新能実行委員会)が認めない者以外の撮影、録音は固く禁じます。

組 番

| | | | |
|------|-------------------------------------|---------|---|
| 舞囃子 | MAKI GINU | 「巻 絹」 | 神楽留 |
| シテ方 | 笛 | | 久田三津子 鹿取希世 久田舜一郎 河村眞介 加藤洋輝 笠田昭雄 笠田祐樹 |
| 地謡 | 小太鼓 大太鼓 藤波重彦 武田文志 久田勘吉郎 | | |
| 仕舞 | TADA NORI | 「忠 度」 | |
| シテ方 | 威敏 | | 親世芳伸 大西礼久 笠田祐樹 |
| 狂言 | SUMI NURI | 「墨 塗」 | |
| シテ方 | 名者 | | 井上松次郎 鹿島俊裕 佐藤融雄 |
| 能 | FUNA BEN KEI | 「船 弁 慶」 | 重キ前後之替 |
| シテ方 | 御亡霊 | | 和鷗智好郎 清勤紹太郎 久吉常太三郎 森野村又三郎 久河村眞一 加藤洋輝 坂口貴信 上田昭雄 森本哲丸 |
| 前後子方 | 静平源武 | | |
| ワキ | 從船 | | |
| 囃子 | 小太鼓 大太鼓 上田観藤大武 | | |
| 見謡 | 鼓鼓鼓 弘伸彦久志 貴芳重礼文 | | |

第十四回 名古屋名駅 薪能

第14回名古屋名駅薪能の開催にあたって



東海旅客鉄道株式会社
代表取締役名誉会長 葛西 敬之

今年も名古屋の夏を彩る名古屋名駅薪能が開催されます事を、心よりお祝い申し上げます。

大都市「名古屋」の玄関口、JR名古屋駅において、日本の伝統芸能である「能」を演じるこの非常にユニークな催しも着実に回を重ね、今年で14回目となります。これもひとえに一般財団法人観世文庫や名古屋名駅薪能実行委員会をはじめ、地元の皆様方のご尽力によるものと思えます。

また、併せて開催される名古屋名駅薪能全国学生能楽コンクールも、今年で7回目となりました。名駅薪能が更なる拡がりを見せていることに対し、協賛する一企業として大変嬉しく存じます。

この大変意義深い行事が、今後とも多くの皆様に親しまれることを期待いたします。

あらすじ

船弁慶

【あらすじ】源義経は、平家追討に武功を立てますが、戦が終わると、かえって兄頼朝から疑いをかけられ、追われる身となります。義経は、弁慶や従者と共に都を出、摂津国(兵庫)大物浦から西国へ落ちようとしています。静御前も、義経を慕ってついて来ますが、弁慶は時節柄同行は似合わしくないから、都へ戻すように義経に進言し、了承を得ます。弁慶は静を訪ね、義経の意向を伝言しますが、静は弁慶の計らいであるかと思ひ、義経に逢つて直接返事をするといいます。義経の宿へ来た静は、直接帰京をいわれたされ、従わざるをえず、泣き伏します。名残の酒宴がひらかれ、静は、義経の不運を嘆きつつ、別れの時となり、涙ながらに一行を見送ります。

【中入】弁慶は、出発のためらいった旅僧ではなく、ストーリーう義経を励まして、船頭に出船を命じます。船が海上に出ると、わかにか風が変わり、激しい波が押し寄せて来ます。船頭は必死に船をあやつりますが、吹き荒れた海上に、西国で滅亡した平家一門の亡霊が現れます。中でも平知盛の怨霊は自分が沈んだように、義経を海に沈めようと長刀を持って襲いかかって来ます。義経は少しも動ぜず戦いますが、弁慶は押し隔てて、数珠を揉んで祈り続けます。折られた亡霊は、しだいに遠ざかり、ついに見えなくなりま

墨塗

の展開の上で主導権を持っています。アイも、前後の場をつなぎ、シテが装飾をかえる間、所の者として居語りするのではなく、船頭として劇の中にとけこみ、仕所もたつぷりとあります。そしてシテは、二場形式でありながら、前後の役が化身と本体という関係にあり、静御前と知盛の亡霊という全く異なった人物として登場します。悲運の武将と彼を慕う美女との別離の宴が、一転して、嵐の海上に怨霊と戦う激しい場面に変ります。前段の優麗、哀愁と、後段の勇壮、活発と対照させ、前場では舞、後場では舞動と、盛り沢山の見せ場が用意されています。現行曲中屈指の人気曲になっています。

【みどころ】作者の観世小次郎信光は、世阿弥の甥・音阿弥の子です。彼は世阿弥が「幽玄の美学」によって高い密度で完成させた能を、もう一度脱皮させ、大衆へ近づけようと意図しました。演劇的な技巧を駆使し、能舞台をぎりぎりまで使い、シテ一人主義の夢幻能とはちがった、登場人物も多々、劇的な葛藤を盛り込んだ作品を書きました。この作品では、ワキは単なる物語の引き出し役と



駿々堂「能楽手帖」より

今も昔も変わらぬ男女の人間模様。虚々実々のしたたかな駆け引きと召使いの機転が、真剣ゆえの笑いを誘います。



二十六世観世宗家
KANZE KIYOKAZU
観世清和



シテ方観世流能楽師
HISADA KAN-OH
久田勘鷗

- 1947年生まれ
観世流能楽師 故久田秀雄の次男
重要無形文化財総合指定保持者
重要無形文化財総合指定保持者
大阪文化芸術奨励賞受賞
大坂文化芸術奨励賞受賞
神戶ブルーメール賞受賞
名古屋市長賞奨励賞受賞
名古屋市長賞奨励賞受賞
名古屋演劇バンククラブ賞受賞
(公益社団法人)能楽協会
名古屋支部 支部長
(社)観世会 会員
(社)日本能楽会 会員

- 1959年生まれ
二十五世観世左近(元正長男)
重要無形文化財総合指定保持者
平成27年春 紫綬褒章受賞
芸術選奨文部大臣賞
芸術選奨文部大臣新人賞受賞
フランス芸術文化勲章シヨアリ受章
(一)財観世文庫 理事長
(二)財観世文庫 理事長
(三)独日本芸術文化振興会 評議員
(四)社日本能楽会 常務理事